

## 第4回三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会会議録

- 1 開 会 平成24年12月25日（火） 午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席者 宮菌委員長、上石委員長職務代理委員、宮原委員、杉野委員、小野島委員、丸山委員、小越委員、阿部委員、関委員、石黒委員、鈴木委員、住吉委員
- 4 説明のための出席者  
池浦教育部長、大平教育総務課長、高橋学校教育課長、嘉代小中一貫教育推進室長、高野教育総務課長補佐、大谷教育総務課庶務係長、野水教育総務課庶務係主任
- 5 傍聴人 5人
- 6 会議次第
  - (1) 開 会
  - (2) 会議録の承認
  - (3) 議 事
    - ア 校名候補案の最終決定について
    - イ 校歌及び校章の選定方法について
  - (4) 次回制定委員会の日程について
  - (5) その他
  - (6) 閉 会

## 7 審議の経過及び結果

### (1) 開会

(宮菌委員長)

定刻まで少しありますが、全委員お揃いですので、第4回の三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会を開催したいと思います。ではまず、教育部長よりご挨拶をいただきます。

(池浦教育部長)

本当に今日は寒くなりまして、道足も非常に悪く、また年末も押し迫って委員の皆様もそれぞれにお忙しい中、第4回の校名制定委員会にお越しいただき、ありがとうございます。三条高校跡地に今建設しております一体校も進捗率がほぼ30%になりまして、外からも大体形が見えるようになってきたと感じております。来年の12月15日にはハードとしてしっかりと完成するわけでございまして、その準備に向けて、開校準備委員

会の方では、学校のきまりや校時表はどのようにすれば良いのか。小学校と中学校の一緒に具体的に何をすれば良いのか。地域交流の関係ではPTAや後援会組織がどうあったら良いのか。通学部会の方では、主要通学路におけるネックはないのかどうか、あるいはスクールバスはどういった界限の子どもたちを対象にどういった方向で運行すれば良いのか。このようなことを議論させていただいておまして、順調に、進捗しているところでございます。

こちらの校名制定委員会につきましても、委員さんからご議論いただく中で、前回、8つの候補まで絞っていただきました。今日はそれが1つに絞られ、校名が決まるということでございます。また、その後は校歌・校章をどのように選定すれば良いかという議論にも、皆様方のお知恵をいただければと思います。どうぞ本日も、よろしくお願い申し上げます。

(宮菌委員長)

本日は本当に、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。それでは、第4回の三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会を開催いたします。

まず最初に、会議の成立についてご報告申し上げます。本日の会議は委員12名全員が出席しております。したがって、本制定委員会設置要綱第5条第2項の規定により、本日の会議が成立することをご報告申し上げます。

## (2) 会議録の承認

(宮菌委員長)

お手元でございます第3回（仮称）三条市第一中学校区統合小学校校名等制定委員会会議録について、何かご発言がございましたら、お願いしたいと思います。

事前にお目通しいただいているかと思いますが、ご発言がないようですので、会議録につきましては、承認するというご異議ございませんでしょうか。

—異議なしの声あり—

それでは、ご異議がございませんので、承認することに決定いたしました。

## (3) 議事

### ア 校名候補案の最終決定について

(宮菌委員長)

それでは、本日の議事に入りたいと思います。本日は大きく2点でございます。一つは校名候補案の最終決定について、その後、校歌及び校章の選定方法について、こちらについては委員の皆様からご意見をお伺いするという形にしたいと思います。

それではまず最初に校名候補の最終決定について、事務局の方から説明をお願いします。

大平教育総務課長が説明

(宮菌委員長)

ただ今の事務局のご説明につきまして、何かご発言ございましたら、お願いしたいと思います。ないようですので、この進め方で、ご異議ございませんでしょうか。

—異議なしの声あり—

できるだけ、全員一致で案を決めて行きたいと思いますので、皆様のご意見を是非、お願いしたいと思います。

(宮菌委員長)

これから委員の皆様から順番に、選んだ校名候補とその理由についてご発言いただきたいと思います。発言順につきましては、宮原委員から順に、最後に鈴木委員ということでお願いしたいと思います。今、ホワイトボードを用意していただいておりますが、絞り込んでいただいた校名候補については、このホワイトボードに、事務局から記載してもらいます。

それでは、最初に宮原委員からお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

(宮原委員)

「嵐南小学校」ということでお願いしたいと思います。前回、私は「第一小学校」を1番に挙げさせていただいておりましたが、皆様の意見で「嵐南」というのが多かったこともございますし、また、地名を包括的に捉えるという意味で、「嵐南」は少々範囲が広すぎるのではないかという意見もありましたが、あまり具体的な町名よりは、少しぼやかすと言いますか、そのような方が、かえって良いのではないかということです。

また、これも前回にありましたが、私は「第一」が良いと思っていましたが、「第一」のほかに「第二」「第三」があるのかと言われると、今のところそういうことがないのであれば、それは候補から外し、「嵐南」ということで挙げさせていただこうかと思っております。

(宮菌委員長)

的確かつ簡潔にご意見いただきました。それでは、続いて小野島委員をお願いします。

(小野島委員)

「南四日町」でお願いします。理由は、まず既存の小学校3校の学校名をどこかに入れたいということで、「南小」の「南」、「条南小」の「南」、「四日町小」の「四日町」ということで、「南四日町」を推したいという思いが1番強かったのですが、さらに、学校の所在地が「南四日町」だということもあります。

また、前回から引っかかっているのは、「嵐南」という地区が西鱒田から月岡も入ってくるので、広すぎるのではないかという思いがありまして、「南四日町」を挙げさせていただきました。

(宮菌委員長)

続いて小越委員をお願いします。

(小越委員)

私は、四日町校区で生まれ育ってきまして、「嵐南地区」というのに1番馴染みがありますので、「嵐南小学校」が1番良いのではないかと思います。今、小野島委員がおっしゃいましたが、嵐南地区の人は、「嵐南」というのは四日町新保方面のことをそう

呼んできたように思いますので、それほど広範囲という感じではないのではないかと思います。

(宮菌委員長)

それでは続きまして、関委員お願いします。

(関委員)

私は「南四日町小学校」を推したいと思います。前回、「三条嵐南」と「南四日町」を挙げたのですが、どちらかと言えば私も「南四日町」の方を推したいという気持ちです。やはり、学校所在地の地名であるというのが第1です。「一ノ木戸小」や「裏館小」といった、地名に基づいた学校名を考えても違和感がないかと思われま

(宮菌委員長)

それでは続きまして、石黒委員お願いします。

(石黒委員)

「嵐南小学校」でお願いします。理由ですが、私は嵐北地域に住んでおりまして、あちらの方は「嵐南」と呼んでおります。そこに新しい小学校ができるということで、「嵐南」が良いのではないかと思います。地域的に範囲が広いという意見もあるかと思いますが、やはりその所在地的な面では、「嵐南小学校」というのは、これから大きな校区がまとまり、新しいスタートを切るのだということを表す意味で、良いのではないかと思います。

また、新聞でも報道がありましたが、公募で1番有効票が多かったのが「嵐南」という名前でしたので、それも1つの理由です。

(宮菌委員長)

それでは続きまして、住吉委員お願いします。

(住吉委員)

私も、前回「第一」と「嵐南第一」を挙げたのですが、今回は、「嵐南小学校」を推したいと思います。やはり、地域で1番馴染みがあるのと、新たにという気持ちが入っていること、また、票が1番多かったということでこれに決めさせていただきました。

(宮菌委員長)

それでは続きまして、上石委員お願いします。

(上石委員)

私は、「南四日町小学校」を推したいと思います。「嵐南」というと、私どもは嵐南地域に住んでいるものですから、水害のことを思い出します。洪水が起これば水が来るというイメージが起きますので、下手の「南四日町」にした方が良かったと思います。また、小野島委員がおっしゃいましたが、「条南」、「南」、「四日町」の字を含んでおりますので、私は、所在地の地名を取ったというよりも、3校の名を取ったという意味では1番良いのではないかと思いますので、「南四日町小学校」を推します。

(宮菌委員長)

それでは続きまして、杉野委員お願いします。

(杉野委員)

「嵐南小学校」でお願いいたします。やはり、包括的という意味で、若干広いというご意見もありますが、統合小学校ということですので、包括という意味では「嵐南」であろうと思います。逆に、「南四日町」では少し狭すぎる印象があるかなと思います。

(宮菌委員長)

それでは続きまして、丸山委員お願いします。

(丸山委員)

「嵐南小学校」でお願いします。理由は、最初の会議でも申し上げましたとおり、私は四日町小学校や条南小学校、南小学校にも縁があるのですが、3つの学校の方が皆、納得する名前が良いかと思ったからです。また長岡でも、3つの学校が統合して、各校の地名を1字ずつ取って、1つの名前になったところがあります。それは、実際になかった地名なのです。「南四日町」は既にある地名なので、3つを統合して、新しい地名ならば良いとは思いますが、現在ある地名を取るのは、あまりに範囲が狭すぎるかと思っています。

上石委員は先ほど「嵐南」には水害のイメージがあるという話をされましたが、水害から復興して、これから新しい未来を築いていくという意味で、私はあえて「嵐南」とつけた方が良くはないかと思っています。

(宮菌委員長)

それでは続きまして、阿部委員お願いします。

(阿部委員)

私も、前回第1に挙げました「嵐南小学校」が良いのではないかと思います。その理由の1つですが、1番多くの公募があったということは、それだけ「嵐南」という言葉が、三条の皆さんに親しまれている言葉なのだということだと思います。

(宮菌委員長)

それでは最後に、鈴木委員お願いします。

(鈴木委員)

私も悩んだのですが、最終的には「嵐南」にさせていただきました。前回もお話したのですが、大きな視野の中に立って、三条に流れる五十嵐川を挟んで、「嵐北」と「嵐南」ということを考えたときに、やはり南、「嵐南」の方が良いのではないかと判断させていただきました。月岡と西鱒田方面の方々にも、将来的にはご理解いただけるのではないかという思いで、悩んだのですが、「嵐南」にさせていただきました。

(宮菌委員長)

ただ今、11名の委員の方々からご説明いただきました。その結果、「嵐南小学校」が8票、「南四日町小学校」が3票という形になりました。この結果について、何か事務局からありますでしょうか。

(大平教育総務課長)

大変ありがとうございました。今ほどの結果につきましては、委員長がおっしゃったとおりでございまして、「嵐南」を8名、「南四日町」を3名の委員が推す、ということとでございました。できましたら、事前にお話させていただいたとおり、いろいろ意見

を交わしていただいた中で、1点に絞っていただければありがたいと思っておりますので、もう少し話し合いの方を進めていただければと思います。

(宮菌委員長)

ただ今、このような結果になりました。そして、前回の委員会の中でも確認したことですし、今日も冒頭で確認させていただきましたが、委員会として、できれば合意して全員一致で教育委員会の方に報告していきたいと考えております。もちろん、多数決ということも考えられますが、委員会として、やはり「これが良い」という見当をまとめていきたいと思っております。そういう意味で、合意していくにはやはり熟議を行い、それぞれのご意見を詰めていき、そこで納得していくということが必要になってくると思っておりますので、何かただ今の件につきまして、改めてご発言ございましたら、お願いいたします。

この場合、恐らく多数決を取ると方向性が見えてくるとは思いますが、少数意見となりました「南四日町小学校」に3票入っております。それを提案された皆様から少しご意見をいただければありがたいのですが、上石委員いかがでしょうか。

(上石委員)

私が南四日町に住んでいるので、「南四日町小学校」にこだわりすぎかもしれませんが、先ほども言いましたように、「嵐南」というと非常に範囲が広く、嵐北から見ると「洪水にさらされてしまう土地だ」というふうに考えてしまいます。

また、嵐南地区の集落の発祥を見ますと、農家の田んぼ、草地が多かったということです。それから今のような町ができたのでしょうか。「嵐南」は広域を考えた場合の名前なので、もっと地域に密着したような校名が良いのではないのでしょうか。やはり、南四日町にできる小学校は、「南四日町小学校」にした方が良いのではないかと思います。確かに「南四日町」は限られた町内かもしれませんが、「条南小」「南小」「四日町小」の各校の名前の文字が含まれるという部分も理解していただければと思います。

(宮菌委員長)

ただ今のご意見は、「嵐南」は範囲が広いということと、水害への思いもあるのではないかというご意見もございました。そのようなところから、「嵐南」に対して「南四日町」を推すということでしたが、他の方、関委員いかがでしょうか。

(関委員)

「嵐南」という地名に、私は子どもの頃全く馴染みがありませんでした。社会人になって初めて、仕事の中でいろいろなお客さんとお話しながら、「嵐南」「嵐北」と呼び分けるのに馴染みが出てきたというレベルでして、自分も四日町小学校を出て第一中学校に通ったのですが、「嵐南」「嵐北」という区分は、やはり学生時代には全く意識がありませんでした。将来的に月岡・西鱈田も統合する予定等があるなら「嵐南小学校」にするのも有りだとは思いますが、やはりほかの三条市の学校名を見ても、大崎にしろ、下田の大浦にしろ、町内の名前を取っておりますし、ここだけ特別なのはどうか、という意識がどうしても働いてしまいます。自分の子どもも、この新しい学校に通う予定ですので、どうせなら地名の小学校が良いかな、という気持ちになりました。

(宮菌委員長)

小野島委員いかがでしょうか。

(小野島委員)

2回目の委員会のとき、募集要項の中で「誰からも親しまれるように」という内容を取っていただいたと思うのですが、同じことでありまして、私自身は学校名にそれほどこだわりがなく、多くの人に認めてもらえればそれで良いと考えております。学校そのものの名前が、地域の皆さんにとってどういうイメージになるかは、新しい学校の教育活動が決めるものと考えております。したがって、名前そのものにはさほどこだわりがありません。ただ、現状でいうと、「南四日町」の方が良いのではないかとというのが私の考えです。

(宮菌委員長)

今、「南四日町小学校」を推した3名の方から補足説明をいただきましたが、それについて、何かご意見いかがでしょうか。あるいは、お互いの考えに対する質問等でも構いませんので、お願いいたします。

(鈴木委員)

広範囲であるという面から考えて、さきほど月岡や西鱈田のPTAや自治会から何か情報は入っているのでしょうか。「嵐南」では<sup>かんぽ</sup>芳しくないですとか、そういったご意見があるかどうかというのを、私どもは何も聞いていないのですが、いかがでしょうか。

(宮菌委員長)

それでは、事務局お願いします。

(大平教育総務課長)

今ほど鈴木委員がおっしゃった、月岡とか西鱈田の方から「嵐南」といった範囲に対するご意見等があったかというご質問ですが、私ども事務局の方には、そもそも校名がどうなるのかといったことに対する問い合わせ自体がございませんでした。

(池浦教育部長)

補足させていただきますと、校名制定も含めまして、開校準備の状況について、保護者の方への説明会も開かせていただいて、この状況についてもご報告させていただきました。また、先日の議会の特別委員会でも今の進捗状況についてご報告させていただきました、この校名等について候補を示させていただきましたが、特別なご意見はいただきませんでした。あえて申し上げますと、「第一小学校」という名前にしてしまうと、昔三条小学校も「第一小学校」と呼んでいたというお話がありましたが、それ以外には一切そういったご意見はありませんでした。

(宮菌委員長)

鈴木委員、よろしいでしょうか。ほか、何かございますでしょうか。

(小越委員)

さきほどの意見で、町内にこだわるという話が出ましたが、現状、三条の小学校で一番新しいのは、南小学校ですが、「南」という町名はありませんし、それにこだわる必要はないのではないかと思います。

(宮菌委員長)

石黒委員、今出ている意見に対して何かありますでしょうか。

(石黒委員)

先ほど、「南四日町」という既存の町名を学校名に用いるのはいかかなものかという話もございました。私どもの嵐北から見ますとなんとなく小ぢんまりとしすぎたイメージを受けることと、見方によっては、南四日町の方々の息が強かったから「南四日町小学校」なのだと捉えられかねないという気がします。

先ほど話がありましたが、公募で「嵐南小学校」が1番多かったのは、そういった町名にこだわっていないことも理由なのではないかと思っております。ですから、その辺りを少し考えを変えてはどうかと私は思います。

また、もう1つ水害という話ですが、もう過去の話で、これからは違うのだという思いを込めて学校名をつけるということを考えても良いのではないかと思います。ですから、あまり水害というものを考えず、もっと前向きに考えた方が良いと思います。

(宮菌委員長)

ほかに何かございますか。

(上石委員)

私が「南四日町小学校」を推したのは、何も町名にこだわってのことではありません。「南小学校」「条南小学校」「四日町小学校」の3つの字を取っているので、「南四日町」としたい、ということを理解していただきたいと思います。私が南四日町に住んでいるからというわけではありません。

また、嵐北に住んでいる方にはよくわからないかもしれませんが、昔から大雨が降ると東側の堤防が決壊して洪水になると、幼い時分から見聞きしております。それを、このように「嵐南」と、ここに住んだからこそそのイメージかもしれませんが、私としては、少しでも逃げ去って行きたいと思います。新生三条市に住むのであれば、「嵐南」という文字を、頭の中から抜き去って行きたいと考えています。

(宮菌委員長)

いろいろな思いや願いが込められたご意見でしたが、ほかに補足等で何かございますか。広く、新しく3校を統合していったときに、既存の校名を込めていくというのも、1つの考え方であろうと思いますし、一方で、統合していったときにもっと広く学校が地域の中で発展していくということを含めて、「嵐南」という校名とする、といった考え方もあり得るのではないかとといった意見が出されているところですが、いかがでしょうか。何か、確認しておきたいところ等ありましたらお願いいたします。

(宮原委員)

私の「嵐南」を推した理由に関する補足ですが、本当は杉野委員の方が詳しいのかもしれませんが、本来、四日町地区、昔の四日町村の辺りの学校だから「四日町小学校」となったとか、三条村の小学校だから「三条小学校」だとか、「一ノ木戸」であったり「大崎」であったり、三条の中ではそういった大きな地域区分の中での小学校名がついているように私は捉えて、本来この地区だと「四日町」という名前が1番良いのではないかと



とっていました。

ですがやはり、丸山委員のおっしゃられたように、統合した学校がまた同じ名前だといろいろと住民から問題があるのではないかと考えると、もっと広い区分で三条を捉えた、「嵐南」「嵐北」といった区分が良いのではないのでしょうか。「嵐南」というととても広い区分かもしれませんが、小越委員もおっしゃったように、三条駅を中心とした一帯がイメージされます。土場等の遠い地域から通学する子どもたちからすれば、割と広い意味の「嵐南」の方が、通っている学校の名前が住んでいる地域を含んでいて良いのではないかと思います。それらの意味を込めて、私は「嵐南」が1番無難なのではないかと考えて、挙げさせていただきました。

私も本当は、小野島委員と同じように、学校名は学校名で、中身は、後でソフトの方で作っていくものですから、その意味では学校名はなんでも良いのではないかと思います。ただ、それでは通う子どもたちが可哀想なので、私は、広い範囲を包括した名前が1番良いのではないかと考えて、「嵐南」を挙げさせていただいた次第です。なんにも、上石委員の意見がいけないというわけではないのですが、少しでも納得していただければと思っています。

(宮菌委員長)

新しいものを作り出していくときに、「嵐南」という広い地域の中に、地域の発展を進めていくという思いが「嵐南小学校」の中に含まれるのかと思います。今ほど杉野委員のお名前が出ましたが、杉野委員、何かございますでしょうか。

(杉野委員)

「嵐南」が現在まで使われてくる中で、本当は本成寺・四日町・三条駅のエリアを指しただろうと私は思っているのですが、近代化する中で「嵐南」というのが非常に力強いイメージで、三条南地区が近代化・発展していく中で、だんだん広がっていったというように思っています。それが三条地域から栄地域にかけての南地域一帯をも指すくらいに広がっていったのは、もともとの嵐南地域の人々の活躍によるものなのだろうと思っていますので、私は逆に、その力強いイメージがある「嵐南」というものを統合小学校に使う方が妥当だろうと思っています。

また、水害や水に関わるということについてですが、三条の地名についてはほとんどが水に関わるものなので、逆にあまり地名という面では水害にこだわる必要はないかと思えます。

(宮菌委員長)

これからの統合小学校の発展の方向に願いを込めるという思いから「嵐南」を推すというご意見だったかと思えます。関委員、今のご発言を聞いていかがでしょうか。

(関委員)

確かに、おっしゃるとおり「南」は地名ではなかったと思ったのですが、それはやはり、学校ができてからの歴史といいますか、積み重ねがすごくて、旧三条市内の方々は言われればすぐ場所が分かるというレベルにまでなっていたのだなと思います。ただ、やはり新しい学校だからこそ、地名をつけて、場所がはっきり分かるのも良いのかな、

と今のお話を聞いていて思いました。新しい学校がどこにあるのかといったときに、新聞でも言っているので、旧三条市内の方にはわかっている方も多いかと思いますが、旧三条市外の方にはどこまで認知できるのかも考えました。地名が、場所を示すには1番わかりやすく良いのではないかと、認知されやすいのではないかとともに思います。

(宮菌委員長)

まだもう少しご意見いただいた上で、方向性を決めていきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

(丸山委員)

先ほどと同じことなのですが、新しいものをつくっていくということであれば、関委員がおっしゃったように、市外の方の認知というのはあまり関係ないのではないかとともに思います。今通う子どもたちのことを第一に考えれば、市外の方にとって嵐南小学校がどこにあるかは、問題ではないと思います。また、嵐南地区のこともありましたが、嵐南小学校と見ても、「条南」「南」の「南」の字も入っていますし、旧四日町小学校の近くに建てるわけですから、ある意味、校名・場所は残るのではないかとともに思っています。

(住吉委員)

やはり、「南四日町」だと、以前に「四日町小学校」があつて、そこにプラス「南」がある、という感覚がなんとなくあるので、私はやはり、そういう意味でも、「四日町小学校」が強いような気がします。そうすると「嵐南小学校」の方が良いのではないかとともに思います。

(宮菌委員長)

3つの学校が、新しいものをつくっていくというときに、既存の校名がなんとなく先行しそうだということでしょうか。

(宮原委員)

「南四日町」だと校歌をつくったりするときに言い回しが8音と長いのではないかとともに思います。「嵐南」の4音の倍ありますし。小学校ですからそうでもないかもしれませんが、応援歌等をつくったりするときにも長いと思いましたし、漢字2文字だとバランスも良い、というのも理由の1つです。比較した場合の話ですが。

(宮菌委員長)

名前の響きといった観点からのご意見でした。できれば、先ほどもお話しましたとおり、ここは少し譲ってでも、こちらで良いという合意の仕方、納得の仕方ができれば1番良いかと思えますし、それが新しい学校にとって1番相応しいものだということだと思えますので、なるべく皆さんの合意が得られるようにしたいと思えますが、いかがでしょうか。

(上石委員)

宮原委員に少し申し上げたいのですが、確かに「南四日町」は長いと思えますが、南四日町1・2丁目の老人会に、南四日町の歌があります。だから、なにも8音では歌いにくいということはないと思えます。節まわしによっては、力強く歌えます。実際に南

四日町を歌いこんだ歌があるので、私は不自然には思っていませんでしたが、そうお考えの方もいらっしゃるのかと思いました。

(宮菌委員長)

それでは、小学校名を決めるということで、前回の決定方法の中で、できましたら合意でいきたいと思うのですが、この委員会の中で「嵐南小学校」が、新しいものをつくっていく、そういう方向で考えるのが妥当ではないかという意見が多数を占めておりますけれども、これで全会一致という形で委員会の案として決めるということできたいと思うのですが、いかがでしょうか。

—異議なしの声あり—

それでは、「嵐南小学校」が最初の投票では8票いただいておりますが、これを最終校名案に決定することで、ご異議ございませんでしょうか。

—異議なしの声・拍手あり—

それでは、ご異議ありませんので、「嵐南小学校」を本制定委員会の最終校名案に決定し、この案を教育委員会に報告することにしたいと思います。

#### ・表彰、記念品等について

(鈴木委員)

前日も言わせていただきましたが、公募で「嵐南小学校」と応募した方が47名いらっしゃるわけですが、その記念品についてはどうなりますでしょうか。

(宮菌委員長)

事務局お願いします。

(大平教育総務課長)

今「嵐南」ということで決定いただきましたが、応募されている方が47名いらっしゃいます。非常に多くの方から応募いただいた校名案に決まりましたので、当初の募集要項の中では、多数の場合は抽選をさせていただくということをお願いさせていただいております。

今後の方向なのですが、次回くらいまでには、いつ表彰するかということと、47名の中からどのような形で選ばせていただくかということ、もし抽選で漏れた方に対しては、どのような形でお礼を申し上げるかということにつきまして、ご提案させていただきたいと思っております。あわせまして、これから校歌・校章についてもご審議いただきますが、それも含めまして、基本的な考え方を提案させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(宮菌委員長)

47名ということでしたので、その方々がそれぞれに「参加できた」ということが実感できるような提案をいただきたいと思っております。

(小野島委員)

確認なのですが、学校名はこの場で決定ではなく、教育委員会にかけなくては決まらないので、まだ47名になるかどうかはまだ決まっていないのではないのでしょうか。ちなみに、「東京スカイツリー」は応募件数が20位ほどの候補が最終的に採用されたという

ことですので、ご参考までに。

(宮菌委員長)

すみません、そうですね、まだ最終決定ではありません。

(大平教育総務課長)

おっしゃるとおりでございまして、以前にもお話させていただきましたが、この案を次回、直近の教育委員会定例会に諮っていきたいと思います。当初、2月を予定していたのですが、本日決定いただきましたので、1月の教育委員会定例会の方に提案させていただきたいと思います。これで決定されれば、応募いただいた方が47名ということになります。

ただ、表彰するタイミングですが、あまり離れていても良くないと思いますが、セレモニー的なものも必要かと思っておりますので、竣工式ですとか、何かに合わせて行いたいと思っております。教育委員会で決定されれば、応募された方には、なんらかの通知を差し上げたいと思っております。

(宮菌委員長)

教育委員会の方で決定の後、表彰のあり方といったことについて提案させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

## イ 校歌及び校章の選定方法について

大平教育総務課長が説明

(宮菌委員長)

ただ今、校歌及び校章の選定方法について事務局から現段階での素案を示していただきました。委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、それを踏まえて、次回の委員会で事務局から校歌及び校章の募集要項を提案したいということのようです。

まずは、校歌及び校章の選定方法については、校名と同じように公募を基本とし、寄せられたものを参考にしながら委員会で集計・検討し、委員会案を取りまとめていくということについて、ご意見・ご発言がありましたらお願いしたいと思います。

(小越委員)

校歌に歌われる歌詞は、どの学校でも校章に生かされているはずですが、校歌の歌詞をつくるのと、校章をつくるのを、同時に進めて良いものかと、資料を見て感じました。例えば、四日町小学校ですと、「松ヶ枝」とあり、それが校章に生かされております。条南小学校でも歌詞の中でいうと3番でしょうか、「さくら」というのが校章に生かされているわけですが、別々でやって良いものかというのも、根本的な問題だとは思いますが、作曲そのものをプロがやるのは構いませんが、先に校歌を決めて、その後に校章の方が良いのか、時期的な面も含めて、ご検討いただければと思います。

(宮菌委員長)

いかがでしょうか。まず、事務局の方からお願いします。

(大平教育総務課長)

今のご意見ですと、校歌を最初に決めて、その校歌に出てくるものを、何か選んだ中

で、校章に反映するというのでしょうか。最初にスケジュールの確認をいただいておりますが、次回の2月の会議で募集要項を固め、公募を基本とするのであれば、4月から5月に公募をしたいと思っています。

どんなに遅くとも、7月くらいには、校歌についてはある程度、歌詞の部分、校章についてもデザインを確定したいと思っております。それから作曲の依頼をしますと、非常に期間がかかります。前例で言いますと、2か月から3か月かかる例もございます。

そうしますと、非常にタイトなスケジュールになってしまいますので、事務局といたしましては、このような形で、併せて並行に進めながら、それらを踏まえた中でご決定をいただければ、と思っております。それにつきましてご意見をいただきたいと思っておりますが、できましたら、この方法でいきたいと考えております。

(小越委員)

では、バラバラになっても良いということですね。

(大平教育総務課長)

そうですね、バラバラに進めながら、例えば、校歌に合わせた校章のデザインが出てくるかどうかといわれれば、それはないとは思いますが、校歌のイメージができるようなデザインを選定していただけるような形を取ることができれば、1番幸いかと思っております。

(丸山委員)

私は、校章は公募でも良いと思います。校歌については、お金はかかりますが、作詞・作曲ともプロをお願いしてはどうかと思います。近隣では長岡の和島小学校が、プロをお願いして、とても良い校歌だと聞いております。新しくするという意味では、その方が良いのではないかと個人的には思います。

(宮菌委員長)

今、公募というところについて、事務局提案に対してご意見をいただきましたが、ほかにいかがでしょうか。

(宮原委員)

私も、丸山委員と同意見です。この案を頂戴しましたときに、果たして公募でここまで出るだろうかと思いました。というよりも、あまりバラバラに応募が出て、かえって決めるのが大変な可能性があるのではないかと思います。校歌については、丸山委員のおっしゃるように、プロをお願いした方が良いのではないかと思います。こちらの方である程度フレーズを公募するのは良いかもしれませんが、全体的なことはお願いした方が良いのではないかという気がいたします。

(阿部委員)

私がさっきお聞きしようと思ったのはその点なのですが、公募のところに「単語とフレーズのみ公募」とあります。その先はどうなるのかということをお聞きしたいと思ったのですが。

(宮菌委員長)

今、話が既に募集方法の内容についてのことに入っていますので、こちらの審議の中

で公募の方法の提案がありましたらそのことについてもご検討いただければと思います。そのように議事を進行していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(上石委員)

資料にある四日町小学校や条南小学校、南小学校の校歌と校章ですが、こちらは公募だったのでしょうか。私は四日町小学校出身ですので、三条の広川松五郎さんが自分の思いを込めて、三蓋松、つまり三つ重ねの松にしたのだという話を前に聞いたことがあります。広川さんといえば、三条の有名な、人物伝に載っている方ですので、なるほどと頷けるような気がします。それでは、条南小や南小はどうなのかということをお聞きしたいと思います。

(宮菌委員長)

既に意見の内容に入っておりますので、事務局の提案は、今日ここで決定ということではなく、次回最終的に、公募が良いのかどうかということも含めて提案したいということですので、それに当たって委員の皆様から忌憚のないご意見・ご質問をいただきたいという提案ですので、まず、それを了承していただくところでよろしいでしょうか。それを踏まえた上で、これから質問・疑問等あると思いますので、出していただきたいと思います。

(小越委員)

最初お聞きしましたが、公募であるということは、校歌と校章は全く別途で良いということですか。

(宮菌委員長)

それも含めて、できるかできないかということも含め、少しここで意見を出していただいて、それを今度は実際に反映させるという方向でよろしいでしょうか。事務局の方もそのような形でよろしいですか。

—異議なしの声あり—

では、次回、事務局に募集の方法等について提案いただくという方向で、また、それらを委員会で集計、検討し、委員会案を取りまとめていく、という方向でいきたいと思っています。

(大平教育総務課長)

次回の委員会の中で具体的な募集要項案を、公募の場合となれば、決定いただきたいと思いますので、本日は委員長にご発言いただいたとおり、募集要項案を作るレベルまで、こちらで決めていただければ良いと思っております。ただ、先ほど委員からご発言がありました、校歌については、公募するかしないか、基本的な部分でありますので、本日その点については決定いただければと思います。

(宮菌委員長)

公募か否かに関しては、ここで明確にしていきたいと思いますが、それも含めて、これから議論していきたいと思いますが、まず、公募を基本として委員会案を取りまとめるということで良いかどうかということを審議していただきたいと思いますが、これについていかがでしょうか。

(杉野委員)

先ほど皆さんもご意見出されたかと思いますが、フレーズ等を公募しても、それを最終的に誰が取りまとめるのか、それが本当に良いものかどうか、誰が判断するのかということで、ここにいる皆さんも作詞についてや、校章のデザインということに関してはプロではないわけですので、それはまた別に判断する方を設けなければいけないとなると、かえって、公募した方が時間的なロスもあるのではないかと思うのですが、ある程度専門的な方に委託された方が良いのではないかという印象を受けました。

(宮菌委員長)

小越委員も同じようなことをおっしゃっていましたね。

(小越委員)

そうですね。それに関しては、私も、後の問題を含めて、専門家に作詞作曲をお願いした方が良いのではないかと考えております。

(上石委員)

その方が良いですね。

(小越委員)

それに基づいて校章を公募しても良いかもしれません。

(石黒委員)

もう少し、事務局の公募を推す理由を聞いてみたいのですが。公募というからには、お金の問題も絡んでくるのではないかと思うのですが。

(宮菌委員長)

それでは、事務局から公募の提案理由について説明いただきたいと思います。

(大平教育総務課長)

校歌について、今、公募するかしないかという議論をされていると思いますので、事務局の考えている内容について少しお話をさせていただきたいと思います。まず、やはり地域に愛着が感じられるものが良いということで、公募を基本に考えておりました。

ただ、歌詞全詞を公募いたしますと、なかなかご応募いただける方は少ないと思っております。そういう意味で、単語・フレーズの部分を募集して、「このような言葉を校歌に入れてもらいたい」という思いを募集したいと思っておりました。この、単語・フレーズの場合は、応募いただいたものから、校名等制定委員会の方で単語の選択をしていただいて、何点か、単語やフレーズが選ばれると思いますので、それをもって専門家の方に作詞をお願いしたいと思っておりました。それができて、こちらで決定いただいたら、作曲については、当初から専門家をお願いするというような流れで考えておりました。

しかし、確かになかなか難しい部分があると思っております。ただ、事例を見ますと、どちらもございます。歌詞・フレーズを地域の方から応募いただいて、それを校歌の中に入れたいという思いも確かにあると思いますので、それも大事なことだと思っておりますし、それをしなくとも、思いの部分はこの委員会の中で伝えて、最初から作詞をするのも1つの方法かと思っておりますので、いろいろとご意見をいただければと思います。ど

うぞよろしく願いいたします。

(宮菌委員長)

公募を原則として、という提案でしたが、委員の皆さんいかがでしょうか。

(丸山委員)

私は、さっき申し上げたように、校章は公募が良いと思うのですが、作詞・作曲は専門の方にしていただきたいと思います。ただ、今教育総務課長がおっしゃったように、単語・フレーズと言いますか、思い・願いについては、公募にせずとも、今学んでいる、各学校の子どもたちに、願いを聞いてみても良いのではないかと思います。地域の大人は、過去の思いがあるだけで、今の実態はわからないわけですよ。今実際に学んでいる子どもたちがどう思っているか、ということを集めた中で、それを作詞家にお任せするという形が良いのではないかと思います。とにかく、作詞・作曲は是非、専門家をお願いした方が良く私は思っております。

(鈴木委員)

私の意見としては、この応募資格の、2案の「市内外を問わず広く公募」とありますが、1人1点というのにはこだわらずに、広く公募をした方が良いのではないかと思っております。校名のときのように約150件も集まることはないかもしれませんが、やはり、三条市内外から、1点にこだわらずに広く公募して、作詞は公募、作曲はプロの方をお願いするのが良い、というのが私の個人的な考えです。

(石黒委員)

私は、2案でも良いかと思っております。ただし、市内外を問わず広く公募というよりも、県内までということの良いのではないかと思っております。1案の三条市内だけですと範囲が狭いので、2案ということと考えたら良いのではないかと思います。ちなみに、数年前に市町村合併したときに、学校が統合されたり、また学校名や校歌・校章を募集した市が県内にも相当あります。その辺りを調べてみても良いのではないのでしょうか。公募で一般から募集して、かなりの数が上ってきたという話を聞いております。

また、新聞を見ますと、そういう方の顔写真や記事が載っていたのを記憶しております。それらを考えた場合、専門家ということだけにこだわらず、1つの公募の方法として、広く一般的に、三条市内、そして市外は県内までの人たちを対象にして、公募して良いのではないかと私は思います。

(宮菌委員長)

今、校歌に関しては専門家でも良いのではないかというご意見と、広く市外からも公募しても良いのではないかと、また、子どもたちにフレーズを募集して、専門家に依頼していくというのが良いのではないかと3つくらいの意見に分かれています。事務局の素案からすると、公募ということが考えられていますが、委員会として事務局の原案を修正した方が良くということであれば、また事務局にここでお願いしなければいけないかと思っておりますが、いかがでしょうか。

(上石委員)

今、四日町小学校の校歌を読んで思ったのですが、私も小さいながらに全く意味がわ



からず歌っていましたが、今になってなるほどと思いました。しかし、条南・南の校歌は子どもたちにも意味が分かる内容になっていると思います。ということはやはり、校歌の意味は知らずに、大きくなってから、なるほど自分はこのように育てられたのだと思いを改めた方が意義があるのではないかという気がいたします。ですから、公募にするよりも、作詞・作曲は専門家に任せて、しっかりとしたものを作っていた方が、一体校ですし、まとまりがあって良いのではないのでしょうか。

(住吉委員)

質問なのですが、作曲家に依頼すると書いてありますが、お願いする作曲家は決まっているのですか。

(大平教育総務課長)

実は、専門家に依頼するという話があった中で、正直申し上げまして私どもも、三条に関係のある作詞家や作曲家はいるのか、ということで、いろいろ調べてはいるのですが、残念ながらなかなか見つからないという状況ですので、今後そういった形になれば、作詞・作曲ともに、どなたにお願いするかということ、こちらの委員の方々に提案させていただきますので、ご判断をいただくことになるかと思えます。

私どもも調べたのですが、三条にゆかりのある方で、名が通っているという方はあまりいらっしゃらないと今のところは思っておりますので、もしそのような意見等ございましたらお願いいたします。

(住吉委員)

例えば、南小学校の校歌を見ますと、作曲された浅井先生は、私もお名前を見たことがあるので、結構有名な方だと思うのですが、そういった、県内の方というくくりだったら多少は作詞・作曲家はいらっしゃるのではないのでしょうか。

(池浦教育部長)

この素案を作る際にも、事務局もかなり悩みました。今ほど教育総務課長が申し上げましたが、できれば三条に何らかの縁のある方から作詞や作曲をしていただければと思います、公募、あるいは専門家の方をお願いする案も出したかったのですが、専門家の方と言いましても具体的なイメージがありませんでした。これは、市民音楽祭などを所管している生涯学習課にも聞いてみたのですが、なかなかパッと出てくる作曲家のお名前がなく、そのこともあって、公募を基本にフレーズ等が決まったら、それから専門家についてどうするかということ、詰めたほうが良いのではないだろうかというのが、我々がこの案を出すまでの経緯でございました。

しかし、今ほどおっしゃったとおり、校歌と校章と一緒に公募した方が良いのか、もしくは、時間に余裕があれば、タイムラグを持たせた方が良いものができるというお話もまた、説得力がございます。

また、校歌については、しっかりとしたものを最初から専門家の方をお願いする、そこで、例えば子どもたちの意見があるのであれば、反映してもらえるかどうかも含めて、ご相談をするなどの措置を取る方向感で議論が進んでいるように感じます。

その辺りを委員会のご意見として取りまとめていただければ、次回は公募要項を提案

するというお話をさせていただきましたが、もしくは1回増えるかもしれませんが、もう1度議論をまとめてみますので、それをご判断いただくこともまた1つの方法かと思えます。もう少しご意見をお聞かせいただければと思います。

(宮菌委員長)

今ほど、事務局から、公募という原則の部分で、委員会からの意見をもう少し吸い上げてほしいというお話でしたが、いかがでしょうか。

(宮原委員)

校名に関しては、「嵐南」という多数の応募があったものが選ばれ、「私も名前を考えた、良い学校ができる」という参加した実感がありますが、校歌の歌詞は、公募にすると、選ばれたたった1人の名前しか残らないので、プロに一任した方が良いのではないのでしょうか。それから公募しても、意外と校章のデザインの方は応募があるのではないかと思います。

以前にも、三条市のナンバープレートの公募がありましたが、インターネットを介して県外からも多数の応募がありました。デザインは、広く公募しても応募してくれる方はたくさんいると思うので、校章の方は校歌より後でも良いのではないかと思います。

(宮菌委員長)

校歌と校章の募集を2つに分け、校歌は専門家に任せ、それを踏まえて校章のデザインを公募するというご意見でした。いかがでしょうか。石黒委員、何かご意見ございますか。

(石黒委員)

当初、公募するのは、予算がないからなのかと思っておりました。専門家に任せると、かなりお金がかかると思えます。お話を聞いていますと、予算がないというわけでもないようです。ですが、今、時代が変わりまして、作詞をできる方はかなりいらっしゃると思います。そうした中で、専門家に依頼するという事は、無難なことだとは思いますが、お金もたくさんかかりますし、あえて公募をしても良いのではないかとも思えます。

(杉野委員)

もう転任されましたが、第一中学校の校長をされていた関先生という方がいらっしゃいますが、その方は詩人でいらっしゃいまして、全国の詩人の方とも交流なさっているということですし、ご意見を求めるには良いかもしれません。また、図書館の協議会の委員長もしていらっしゃいました。

(宮菌委員長)

事務局原案といたしましては、市民から広く公募した、新しい学校に対する願いを込めた校歌を作りたいという思いがあったかと思えます。ですから、その場合も、すべての歌詞を公募するか、それともフレーズを募集するののかということのを2案挙げて、フレーズであればそれを踏まえて専門家にお問い合わせということになっているだろうと思います。そういう意味で、完全に公募というわけでもなく、フレーズを募集するのは、専門家に任せるという前提を含めた公募案かと思うのですが。それでも、フレーズの公

募は省いたほうが良いということでしょうか。

確かに、校章のデザインの方が、皆さんの応募が多いかと思うのですが、今日の内容について、先ほど部長からお話がありました。公募を「原則」というところがなかなかご意見の中でも、決められていないところがありますが、ここについて、もう1度検討していくという形でよろしいでしょうか。

(池浦教育部長)

このようにご議論いただいて、本当は全会一致で決めていただくのが1番だと思っているのですが、先ほど教育総務課長も申し上げましたが、締切りも決まっているのが事実でございます。多少遅れても構わないというところはあるかもしれませんが、あまりその延びしろもないという状況でございますので、今日のところはできましたら、校歌・校章の決め方といいますか、公募にするのが良いか、専門家に任せるのかということをご決定いただければと思います。またもう1つ、もう1度案を練り直して、校歌を決めた後に校章を公募できる方法を考えるという方法もあります。その辺りだけ整理いただければと思います。

申し訳ありません、1回増えるかもしれませんが、その辺りの原案を次回まとめて、報告させていただく、という方法でいかがでしょうか。

(宮菌委員長)

今、2つの内容のお話があったかと思います。校歌・校章の作成を公募で進めるかどうかということについて、いかがでしょうか。確かに、単語・フレーズのみだと、たくさん応募があるかと思うのですが、ただ、それを専門家に依頼するときに、どのような言葉を入れた方が良いのかということをごちらで集計・選定していくという、この委員会の作業が適切にできるかどうかという話になるかと思います。

市民の願いを込めたいという部分もあるかと思うのですが、それでもやはり専門家に任せた方が良いとお考えなのか。時間もそれほど余裕がない状況の中で進めておりますので、もう1回くらいお願いするかもしれませんが、できるだけ早めに方向性を決めていきたいと思っております。

事務局に1点だけお伺いしたいのですが、素案の段階では、公募を前提として、最初から専門家に依頼するということはお考えではなかったと思っております。そのように委員会からそのような方向が示された場合でも、事務局としては支障がないと考えてよろしいのでしょうか。

(大平教育総務課長)

校歌についてだと思いますが、最初から公募するという題につきまして、事務局といたしましては、地域の思いを入れたいと思っておりますので、丸山委員がおっしゃったように、最初からお願いする場合であっても、子どもたちから思いを聞くとか、そういったことをしたいと考えております。

ただ、私どもとしては、公募ができれば1番良いと思っております。先ほど、予算のお話も出ておりましたが、今回、どのような形になっても良いように、ある程度は予算を取っているところがございますので、その辺りの支障はありません。

(宮菌委員長)

応募内容のことと関わって、公募するかどうかというところですが、具体的な内容がリンクしていると思います。いろいろな意見がありますが、考えていることは、もしかすると資料に書かれていることを踏まえているかもしれません。

そういった意味で、少し逆転するところはあるのですが、応募内容について、例えば校歌について、「歌詞については公募とし、作曲については専門家に依頼する」ということになっておりますが、そこに1案2案とあります。1案であれば、単語・フレーズ、例えば、子どもたちからこんな言葉を入れてほしいですとか、そういったことを踏まえて、専門家の方に託していただくということも当然あり得ます。つまり、これは公募を踏まえた上で専門家にお願ひし、作曲も専門家にお願ひするとすれば、事務局の原案が活かされているかというように思うのですが、いかがでしょうか。

(関委員)

委員長のおっしゃるとおり、理想的なのは単語・フレーズを募集しまして、それをもとに作詞家に持って行って、作ってもらうというのが理想形なのではと思います。

(宮菌委員長)

その場合でも、誰かの提案が1つだけというのではなく、複数の方の案を当然活かされてくるということもあり得ると思います。

(関委員)

やはり、いろいろなフレーズ・単語が出てくれば、作詞家の方もイメージしやすいと思いましたが、1つに絞るよりは、こんな意見が上がっているということを見ていただいて、それをイメージして作っていただいて、入れられる単語と入れられない単語も出てくるかとは思いますが、その中でつくっていただければ良いのではないかと思います。

(宮菌委員長)

ただ、その場合に、出てきたフレーズ・単語を委員会で集計・検討し、委員会案をまとめるという、この委員会の場で、どういうフレーズ・単語が良いかということも、先ほどの校名と同じように、決めていくということが必要になってくるとご了解いただきたいと思います。

(住吉委員)

フレーズ・単語がどれくらい出るかはわかりませんが、それを組み合わせて歌詞になりますよね。それに対して、作詞する方は総合的にまとめるのに、いろいろなものがあつた方が良いのか、どれくらいを集めるのかという区切りというものも、専門ではないので、委員会で決めるのは難しいのではないのでしょうか。

(池浦教育部長)

事務局としても、その後のことをどれほど具体的に詰めているかと言えば、それほど詰めていないという状況です。お話を聞いていますと、公募もありということであれば、とりあえず募集したものをご報告申し上げて、その中から使いやすいものを使ったものをいくつか作詞していただいて、決定していくことも有りかもしれません。

その辺りの詳細はまだ詰めておりませんが、もし委員会の総意がそういうことになれ

ば、そのような方向が可能かどうか、お時間をいただいて、次回までにさらに調べていきたいと思います。

(宮菌委員長)

ある程度の見通しがあって、その中でこれだったら委員会でも決められそうだと判断できるかと思いますが、私どもの判断していくという作業を、どのようににやっていくのかといった心配事を確認したいということですね。

(上石委員)

お聞きしたいのですが、単語やフレーズを以って、仮に詩人に依頼するとして、詩人の方は作詞ができるのでしょうか。今はそういう形式が流行っているのでしょうか。それでイメージを膨らませることができるのでしょうか。それより、作詞家の方にこの三条の嵐南に来ていただき、人と会ったり、景色を眺めたり、五十嵐川や信濃川の流れを見たりした方が、イメージがわくのではないのでしょうか。単語やフレーズだけでイメージがわくということはないような気がします。現地に来て、状況や地元の間人情を聞くということから、作詞作曲ができるのではないかとはいいます。

(石黒委員)

私も、フレーズではなく、2案の全詞の募集が良いのではないかと思います。もう1つは、さきほど上石委員がおっしゃったように、ここに合った歌ではないとだめだと思えます。例えば、ある有名な作詞作曲家にお願いしたところがあったそうなのですが、できると実情に合っていないというようなことがあったそうです。そのようなことがあっては困りますので、できるだけ三条を知っている方から作詞作曲をしていただくことが1番良いとは思いますが、また限りもあるとは思いますが、できればフレーズだけではなく全てお任せし、県外まで応募の範囲を広げても良いとは思いますが、できれば県内くらいまでにした方が良いと思えます。

(鈴木委員)

私も、2案の「歌詞全詞を公募」というのを推します。実際に作詞する方には、学校に行って、地域性ですとかの資料をいただいて、それを基にして作っている方が多いです。なにも頭の中でだけ作るではありません。例えば、三条市歌にしても、実際に三条市に行って、いろいろな土地柄等の資料をいただいて、そのパンフレットを見たりしながら歌を作っているそうです。そうすると、単語やフレーズではなく、各校に行って資料を見ながら作ってくれるはずだと思いますので、誰もかれもが作詞・作曲ができるというわけではありませんし、歌詞全般を公募にした方が良いのではないのでしょうか。

(関委員)

公募ですと、自分の詩が採用されるとは限りませんし、そういった作詞の方がわざわざ交通費を払ってここまで来るといのはリスクが高いのではないのでしょうか。作詞家がもう決まっていれば、それで良いと思うのですが、決まらないうちから、それだけの人がこの話に乗ってくれるのだろうかとは思いますが。

(鈴木委員)

本当に詞を作る人は、どこにでも行きます。ですから、校名募集の時とは違い、応募件

数は少ないでしょうが、本当に作りたい人は、その土地に行って資料を集めてくるのです。

(宮菌委員長)

今日、最終決定は難しいかもしれませんが、全詞を専門家の方に、募集にかけずに依頼するべきという意見もございますし、フレーズで公募という案もございます。その場合は、どのように形にしていくかというお話でございました。そうしますと、校歌に関しては、全詞を専門家に依頼した方が良いのではないかという意見がやや多いと思うのですが、そのような形で事務局にお返ししてよろしいでしょうか。

(池浦教育部長)

いろいろな角度からご意見いただきましたが、宮菌委員長にまとめていただいたとおりでと思います。委員さんからお持ち帰りいただいて、もう1度整理した上で、またご意見をいただいた方が良いのではないかと思いますので、今日は貴重なご意見をいただきましたので、1回増えるかもしれませんが、また委員会を設けさせていただきたいと思います。それまでに我々も今の意見をまとめた上で、再度整理をさせていただき、事前に資料を送らせていただきたいと思います。

(宮菌委員長)

今事務局の方から提案がありましたが、私の方も公募の場合の課題等が十分把握できてなかったところがございますし、議事進行もうまくいっていないところがございますが、次回もう1度審議いただいて、また少し詰めていただくということで、この点については次回までの課題ということにしたいと思います。

もう1点、校章と校歌の審議を同時にやっていくのか、あるいは少しずらしてやっていった方が良いのかというご意見もありましたが、恐らく校章に関しては、公募してたくさんの方の応募者があるのではないかと予想できます。校章と校歌との関係ですとか、審議の日程等も含めて、事務局の見通しはいかがでしょうか。

(大平教育総務課長)

同時進行するのか、別々に、どちらかを先に行って時期をずらしても大丈夫かということですが、例えば、校歌を先に決定するのであれば、そこにも条件が入ってきまして、先に申し上げましたが、校歌について直接専門家に依頼するのか、それともその前段に公募という行為が入ってくるのかによります。後者ですと非常にきついところもありますが、校名の方が若干早く決定していただいておりますので、別々に、若干期間が重なりますが、例えば、校歌を選考した場合、歌詞を決めて、作曲の部分を並行できるのであれば、校歌の歌詞が決まってから校章のデザインを募集するというような形で、若干重複すれば、期限内には間に合うような気がしておりますので、それも踏まえてご意見いただければと思います。

(宮菌委員長)

今の件につきまして、ご意見いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(小越委員)

私は、今事務局がおっしゃったとおりの日程で行くのが1番良いのではないかと思います。

(大平教育総務課長)

いただいた意見をまとめて、何パターンかスケジュールを作った上で、次回に資料として提出させていただきたいと思います。いろいろな組み合わせがありますし、ご意見をできるだけ反映したスケジュールを提出させていただきますので、よろしく願いいたします。

(宮菌委員長)

それでは、少し時間も押しておりますが、例えば公募した場合、どのような方をお願いするか、あるいは期間はどうかといったことについて、事務局の提案がここに示されておりますので、この内容について、今の時点でご意見あるいは質問等ありましたら、出していただければと思います。例えば、三条市内にお住まいの方か、あるいは広く募っていくのか、その辺りのこともいかがでしょうか。

(丸山委員)

私は、校名募集と同じで良いのではないかと思います。やはり、校章については地域の方が考えた方が良いのではないのでしょうか。

(宮菌委員長)

校章を公募するという方向で話が進みましたが、その場合は、校名と大体同じの方が良いというご意見でした。

(関委員)

宮原委員にお伺いしたいのですが、先ほどのナンバープレートの件ですが、もし市内に限定したらどれくらい応募が減るものでしょうか。

(宮原委員)

結局選定したのは市外の方のデザインで、かなり遠方の方でした。応募の仕方の段階で、市のイメージをいろいろ出して公募したのだらうと思いますが、応募は相当ありました。厳選した分なのかわかりませんが、東公民館に紙ベースで並べて決めました。子どもの応募も結構ありました。

(宮菌委員長)

まだ内容的には決定しておりませんし、方向性も決定しておりませんので、この資料に書いてあることについても、厳密に審議いただくというよりは、現状で何かご質問・ご意見ありましたらいただければ有り難いのですが。

(小越委員)

三条の工業会がこの六角マークというのを決めるときには、インターネットで公募しまして、最終的に東京の方が応募したものが選ばれました。そのとき、誰からの応募というのをすべて伏せまして、その中で選んだのが三条工業会のロゴマークになっております。市内市外関係なく公募し、名前を伏せて審査するのが1番良いと思いますし、こういう時代ですし、インターネットで広く公募するのも良いのではないかと思います。

(宮原委員)

ナンバープレートに関しても、審査するときはもちろん、名前や、どこからの応募かもすべて伏せて選考を行いました。1人何点か選んで絞り、それをまたシャッフルしてさら

に絞るといふようなことをして選考をしました。それで、校章のデザインの方なのですが、公募でも良いと思うのですが、やはり三条だとデザイナーの方が限られますので、そういう意味では広く公募した方が良いのではないかと私は思います。当然、ただ校章のデザインを募集するのではなく、このような場所だといふようなデータを公募する際に提示しなければならないとは思っています。その方が、広く、いろいろな良いデザインが集まるのではないかと私は思います。

(宮菌委員長)

募集要項の中に、新しい学校の情報をできるだけ公開していくということですね。

(小越委員)

決まった校歌を提示するですとかいったことも。

(宮菌委員長)

校歌が決まってからの方が良いというご意見でしょうか。

(宮原委員)

ただ、あくまで、そのデザインをそのまま採用するとは限らないし、訂正することもあり得るといふことや、著作権はこちらに帰属するといふこと、作品の返却は行わないなどの情報の提示も必要かと思っています。

(宮菌委員長)

校章についてはもう少しご意見いただきたいと思っています。校歌の方は、また次回の方でももう少し進めていかなければならないと思っていますが、いかがでしょうか。

校章募集の応募資格、期間、条件、そして方向等については、応募期間等については、校歌とも関係いたしますので、いつに設定するかといふのはなかなか今ここで審議することは難しいかと思っていますが、これで行きますとだいたい1月半くらいを予定しているといふことです。それくらいの期間だろうと思っております。あとは、応募の条件についていかがでしょうか。1人1点の応募、用紙はハガキサイズからA4サイズまでとする、採用作品は色彩の変更を含めた、補作、修正を行う場合がある。これらは今ほどのお話の中でもあったと思っております。条件に関して、何かございますでしょうか。

(鈴木委員)

さきほども少しお話しましたが、応募資格で三条市内にこだわるのであれば、1人2点とか3点でも良いという形にして、県内にまで範囲を広げるのであれば、1人1点という形にした方が良いのではないかと考えております。

(宮原委員)

ぜひ、児童生徒にも、学校を通じて応募してもらいたいと思っております。だから、最終的には修正を行う場合がある、ということになってくると思うのですが、これこそ、校名のときと同じように、やっていただきたいと思っております。

(宮菌委員長)

学校に、児童生徒が提出しやすいようにというご意見もありましたので、是非子どもたちにも参加を呼びかけていきたいと思っております。あと、応募方法について先ほどもメール等での応募はどうかといったご意見もありましたし、資料にも書かれておりますが、なにか



こんな応募方法はどうかといったご意見がありましたらお願いいたします。

それでは確認させていただきたいと思いますが、校歌については次回、公募にするかなど、選定方法について決定させていただきたいと思います。校章については、もう1度確認したいと思うのですが、公募で進めるという方向でよろしいでしょうか。

—異議なしの声あり—

ご異議ないようですので、そのようにさせていただきたいと思います。校歌及び校章の選定方法について、資料に書いてある中で 前半、やや曖昧な形で終わってしまい、申し訳ありませんが、委員の皆様にご協力いただき、今日の2つの大きな議題について審議させていただきました。以上で、審議を終了させていただきたいと思います。

#### (4) 第5回、第6回制定委員会の日程について

大平教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

##### 第5回三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会

日 時 平成24年1月18日（金） 午後1時30分

会 場 三条市役所栄庁舎 201会議室

##### 第6回三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会

日 時 平成24年2月13日（水） 午後1時30分

会 場 三条市役所栄庁舎 201会議室

8 閉 会 平成24年12月25日 午後3時20分